



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 神奈川中央交通株式会社

コード番号 9081 URL <http://www.kanachu.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 三澤 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 向井 隆夫

TEL 0463-22-8800

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年11月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	55,069	△2.1	3,967	1.2	3,768	3.1	2,639	4.2
25年3月期第2四半期	56,243	5.1	3,920	30.9	3,656	36.8	2,532	70.2

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 1,776百万円 (△34.9%) 25年3月期第2四半期 2,729百万円 (69.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	42.65	—
25年3月期第2四半期	40.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	138,120		39,271		26.1
25年3月期	139,091		37,655		24.9

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 36,110百万円 25年3月期 34,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,700	△3.8	5,270	△14.5	4,650	△17.7	3,030	△20.0	48.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	63,000,000 株	25年3月期	63,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,114,821 株	25年3月期	1,111,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	61,886,640 株	25年3月期2Q	61,891,467 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済の回復基調や欧州の景気が下げ止まりを見せる中、経済政策の効果により大企業を中心に企業収益の改善が見られ、設備投資が持ち直すなど、緩やかに回復の動きが見られました。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な増収策を図るとともに、経費の節減ならびに経営全般の効率化に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は550億6千9百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は39億6千7百万円（前年同期比1.2%増）、経常利益は37億6千8百万円（前年同期比3.1%増）、四半期純利益は26億3千9百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

(一般旅客自動車運送事業)

乗合業においては、中井町全域と隣接する秦野市、二宮町の一部地域でデマンドバスの本格運行を見据えた実証実験運行を引き続き行いました。また、プレジャーフォレスト（相模原市）・神奈川県立花菜ガーデン（平塚市）などの観光施設にアクセスする路線の増便や平塚営業所管内において乗降方法を「中乗り・前降り」方式に変更し、神奈川県西部管内の乗降方法を統一するとともに、ホームページの時刻表・運賃案内システムをリニューアルし、スマートフォンからの検索に対応するなど利用者利便の向上を図りました。さらに、7月には善行駅～善行団地循環線、鶴川駅～山王ガーデン～野津田車庫線、9月には東京駅・横浜駅～東戸塚駅・大船駅線の深夜急行バスの運行を開始し交通空白地域の解消や新規顧客の獲得を図ったことにより増収となりました。

貸切業においては、旅行会社などへ積極的な営業活動に努めたことや、「富士山ぐるり五湖めぐり」などの日帰り旅行を企画し販売したことにより増収となりました。

乗用業においては、羽田空港への定額運賃サービスの利用が堅調に推移いたしました。また、神奈中タクシーグループによる共同配車を横浜市戸塚地区に導入し利便性の向上を図るとともに、8回目となるお客様感謝キャンペーンを実施いたしました。需要の低迷により減収となりました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は296億8千万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は17億5千3百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

(不動産事業)

分譲業においては、平塚市めぐみが丘にて3棟の建売分譲を行うとともに、茨城県鹿嶋用地を販売したことにより増収となりました。また、賃貸業においては、横浜駅の徒歩圏にあるビルを建替え3月より賃貸を開始した「高島町賃貸マンション」が通期寄与したことなどにより増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は24億6千4百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益は12億5千3百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

(自動車販売事業)

自動車販売事業においては、商用車販売にて既存顧客に対する営業活動を強化したことなどにより車両整備が増加するとともに、東日本大震災後の買い控えからの反動により観光バスの新車販売が好調に推移しました。また、輸入車販売ではモデルチェンジの効果に加え、ショッピングモールでの出張展示会を実施したことにより増収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は116億3千8百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は3億3千8百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

(レジャー・スポーツ事業)

スポーツ施設業においては、初心者向けスイミング教室の開催やテニス教室のジュニアクラス増設などにより会員数が増加し増収となりました。

ゴルフ場業においては、新規顧客獲得のためのオープンコンペを開催するなど集客に努めましたが、近隣ゴルフ場との低価格競争により利用客が減少し減収となりました。

温浴業においては、メールマガジンによるクーポンの配布や夏期間における子供料金の割引などの営業活動を行いましたが、利用客数の減少により減収となりました。

なお、遊技場業はグループ外部の承継会社に7月1日を効力発生日とする会社分割（簡易吸収分割）を行いました。

以上の結果、レジャー・スポーツ事業全体の売上高は30億3千3百万円（前年同期比36.8%減）、営業利益は1億8千2百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

(その他の事業)

流通業においては、燃料販売単価の上昇に加え、法人営業の強化により取扱量が増加するとともに、サイン工事の新規受注などにより増収となりました。

飲食・娯楽業においては、5月に8店目となる「ドトールコーヒーショップ東日本橋店」を新規出店いたしました。また、7月には「らーめん花樂相模原アイワールド店」および「はなまるうどん横浜港南中央店」をリニューアルし顧客満足度の向上に努めましたが、前年度における不採算店舗の閉店などにより減収となりました。

ホテル業においては、宿泊部門にてニーズを捉えた各種宿泊プランを設定し稼働率の向上を図るとともに、料飲・宴会部門ではディナーショーを開催したほか、企業・団体に対し積極的な営業活動を行いました。近隣施設との競合により減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は135億9千6百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は4億7千8百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

総資産は、投資有価証券の時価評価額が減少したことや、減価償却などにより、前期末に比べて9億7千万円減少し、1,381億2千万円となりました。

負債は、借入金の返済が進んだことなどにより、前期末に比べて25億8千6百万円減少し、988億4千9百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金が減少しましたが、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べて16億1千6百万円増加し、392億7千1百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益43億7百万円に減価償却費などを加減した結果、52億7千4百万円の資金収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、事業譲渡による収入5億5千3百万円などがあつたものの、固定資産の取得による支出22億8千7百万円などにより、15億6千6百万円の資金支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより、39億2千9百万円の資金支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べて2億2千2百万円減少し、22億5千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、現時点において平成25年4月26日発表の数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,706	2,483
受取手形及び売掛金	7,008	7,576
商品及び製品	3,939	3,811
仕掛品	2	7
原材料及び貯蔵品	431	432
その他	3,015	3,073
貸倒引当金	△56	△66
流動資産合計	17,047	17,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	75,397	75,708
車両運搬具	36,939	37,173
土地	60,642	60,736
その他	14,695	15,113
減価償却累計額	△86,908	△87,526
有形固定資産合計	100,765	101,205
無形固定資産	968	908
投資その他の資産		
投資有価証券	17,034	15,478
その他	3,295	3,228
貸倒引当金	△19	△20
投資その他の資産合計	20,310	18,686
固定資産合計	122,044	120,800
資産合計	139,091	138,120
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,183	6,068
短期借入金	24,176	22,505
未払法人税等	1,733	1,363
賞与引当金	2,107	1,972
その他	10,754	12,711
流動負債合計	44,955	44,620
固定負債		
長期借入金	33,094	31,351
退職給付引当金	5,522	5,283
役員退職慰労引当金	50	46
その他	17,812	17,547
固定負債合計	56,479	54,228
負債合計	101,435	98,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	693	693
利益剰余金	26,474	28,959
自己株式	△590	△592
株主資本合計	29,737	32,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,792	3,809
繰延ヘッジ損益	91	80
その他の包括利益累計額合計	4,883	3,889
少数株主持分	3,034	3,161
純資産合計	37,655	39,271
負債純資産合計	139,091	138,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高		
一般旅客自動車運送事業営業収益	29,512	29,558
不動産事業売上高	2,161	2,461
その他の事業売上高	24,570	23,048
売上高合計	56,243	55,069
売上原価		
一般旅客自動車運送事業運送費	24,988	25,094
不動産事業売上原価	766	864
その他の事業売上原価	19,348	18,044
売上原価合計	45,102	44,003
売上総利益	11,141	11,066
販売費及び一般管理費		
販売費	4,726	4,574
一般管理費	2,493	2,524
販売費及び一般管理費合計	7,220	7,098
営業利益	3,920	3,967
営業外収益		
受取配当金	107	105
その他	145	112
営業外収益合計	253	218
営業外費用		
支払利息	442	373
その他	75	43
営業外費用合計	517	417
経常利益	3,656	3,768
特別利益		
固定資産売却益	289	97
補助金収入	85	105
事業譲渡益	—	520
その他	783	30
特別利益合計	1,158	754
特別損失		
固定資産圧縮損	82	101
固定資産除却損	102	41
早期割増退職金	—	59
その他	262	11
特別損失合計	447	214
税金等調整前四半期純利益	4,366	4,307
法人税、住民税及び事業税	1,302	1,350
法人税等調整額	395	185
法人税等合計	1,698	1,536
少数株主損益調整前四半期純利益	2,668	2,771
少数株主利益	135	131
四半期純利益	2,532	2,639

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,668	2,771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	△983
繰延ヘッジ損益	△23	△10
その他の包括利益合計	61	△994
四半期包括利益	2,729	1,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,600	1,645
少数株主に係る四半期包括利益	129	131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,366	4,307
減価償却費	3,155	2,790
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△215	△225
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△90	△128
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	10
受取利息及び受取配当金	△109	△107
支払利息	442	373
固定資産圧縮損	82	101
固定資産除売却損益 (△は益)	△178	△60
投資有価証券評価損益 (△は益)	214	0
事業譲渡益	—	△520
売上債権の増減額 (△は増加)	347	△568
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△121	6
仕入債務の増減額 (△は減少)	△409	△110
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△25	△30
預り保証金の増減額 (△は減少)	55	△111
その他	1,227	1,497
小計	8,727	7,225
利息及び配当金の受取額	109	107
利息の支払額	△428	△348
法人税等の支払額	△740	△1,710
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,666	5,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△104	△104
定期預金の払戻による収入	154	104
固定資産の取得による支出	△2,169	△2,287
固定資産の売却による収入	427	151
投資有価証券の取得による支出	△1	△10
投資有価証券の売却による収入	142	—
投資有価証券の償還による収入	500	26
事業譲渡による収入	—	553
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,049	△1,566
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,745	△566
リース債務の返済による支出	△371	△354
長期借入れによる収入	1,000	1,800
長期借入金の返済による支出	△4,421	△4,648
社債の償還による支出	△344	—
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△154	△154
少数株主への配当金の支払額	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,041	△3,929
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△424	△222
現金及び現金同等物の期首残高	2,913	2,476
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,488	2,254

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業	レジャー・ スポーツ 事業	その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	29,512	2,161	10,135	4,779	9,655	56,243	—	56,243
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	4	855	23	4,180	5,186	△5,186	—
計	29,633	2,166	10,991	4,802	13,836	61,430	△5,186	56,243
セグメント利益	1,886	1,049	289	230	519	3,974	△54	3,920

(注) 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通業、飲食・娯楽業、ホテル業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業	レジャー・ スポーツ 事業	その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	29,558	2,461	10,567	3,010	9,470	55,069	—	55,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	2	1,070	23	4,126	5,344	△5,344	—
計	29,680	2,464	11,638	3,033	13,596	60,413	△5,344	55,069
セグメント利益	1,753	1,253	338	182	478	4,007	△39	3,967

(注) 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通業、飲食・娯楽業、ホテル業等を含んでおります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。